



No.161 2023. 3

発行 真言宗豊山派
北田山寶泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

真言宗豊山派

三大聖地巡礼の旅



長谷寺ご本尊



令和5年5月10日～12日にかけて寶泉寺では5年ぶりの団体参拝を計画しています。

今年は弘法大師空海上人のご生誕1250年という節目の年にあたることから、寶泉寺の属する真言宗豊山派にとって欠かせない三大聖地を巡る行程となります。

その三大聖地とは

- ① 弘法大師が開かれた高野山金剛峰寺
 - ② 興教大師覚鑿(かくばん)が開山し、豊山派の起源となった根来寺
 - ③ 豊山派の総本山長谷寺
- の三か寺です。



根来寺大塔

高野山では、1250歳のお誕生日を迎えるお大師さまをお祝いし、当山団参初の宿坊に泊まります。今回宿泊する地蔵院は歴史ある静謐なお寺ですが、お酒を嗜むことも可能です。

また根来寺では国宝である大塔をお参りしつつ覚鑿さんの偉業をたずね、また秀吉による根来寺焼き討ちの歴史にも迫ります。

長谷寺ではおなじみの10mを超えるご本尊、十一面観世音菩薩のお御足にじかに触れ、ご利益をいただきます。

これら三か寺は新緑の時期が最も気持ちよく過ごせる季節です。

どなたでもご参加可能ですので、関心のおありの方は、お気軽にお問い合わせください。

宿坊地蔵院



私たちが葬儀を行う理由^{後編}

先日行った法話カフェ（対話型法話会）では「葬儀を行う理由」をテーマとし、前号ではその対話を元に、私なりに葬儀の意義を

- ① 故人の弔い ② 悲しみのケア(グリーンケア)
- ③ 関係者の絆の強化 ④ 「死」を身近に感じる場

の4つに大別してみました。この分類を実際の葬儀という儀式の内容を通して考えてみたいと思います。

そもそも葬儀は、「死」という「苦」に対処するために洗練されてきた儀式で、真言宗では故人が仏弟子になるための作法と定義されます。具体的には導師が戒（仏弟子として生きるため習慣にすべきこと）を授け、その証として戒名をお付けします。そのようにして準備が整えば、仏の世界に入るための引導をお渡しします。この作法により故人は仏としての自己に目覚め成仏します。まさに①故人の弔いのための儀式と言えるでしょう。

また、この時に授けられる戒名は生前の名前との離別も意味し、故人と遺族との別れを促します。他にも焼香や献花などを通じて万物は永遠ではないという真理を感得し、また愛する者との別れという避けることのできない悲しみを受容する体制を整えます。ここには②のグリーンケアと④死を身近に感じる場という二つの項目が当てはまります。

③の親類縁者同士の絆の強化は葬儀に限らずあらゆる儀式に通底するものです。現代では儀式を不要とする向きもありますが、私たち人間は合理的になりきれない生き物であることから、このような儀式が持つ物語性を共有して、仲間という意識を涵養していきます。

以上、かなり簡単ではありますが葬儀の意義というものをまとめてみました。また法話カフェではこのような話し合いを皆さんと楽しく行ってみたいと考えています。

法話
カフェ
のお誘い

仏教について話し合う対話型の法話会です。話を聞くだけでもかまいません。和気藹々とお茶を飲みながら楽しい時間を過ごします。

令和5年の今後の予定は 3月26日、4月30日、
5月14日、6月25日、7月30日です。

各回 13時30分～15時30分ぐらいまで。

会場：寶泉寺本堂



檀信徒のおつとめを読む⑤



5. 十善戒 (じゅうぜんかい p6)

今回と次回の2回で「十善戒」をとりあげます。「戒」とは「習慣」の意。十の善き習慣です。それぞれの意味は次のとおり。

- ・ 不殺生 - 殺生 (暴力) をしない
- ・ 不偷盗 - 盗まない
- ・ 不邪淫 - 淫らな関係を結ばない
- ・ 不妄語 - 嘘をつかない
- ・ 不綺語 - お世辞を言わない
- ・ 不悪口 - 言葉で人を傷つけない
- ・ 不両舌 - 二枚舌を使わない
- ・ 不慳貪 - 貪欲にならない
- ・ 不瞋恚 - 怒らない
- ・ 不邪見 - 邪な見方にとらわれない

単純な教えですが簡単ではないことがよくわかりますね。なので、日々お唱えすることが大切になります。(次号に続く)

十善戒	でしむこう
弟子某甲	じんみらいさい
尽未来際	
不殺生	ふせつしやう
不偷盗	ふちゆうたう
不邪淫	ふじやいん
不妄語	ふもつご
不綺語	ふきご
不悪口	ふあくく
不両舌	ふりやうぜつ
不慳貪	ふけんどん
不瞋恚	ふしんい
不邪見	ふじやけん

今年も雑木林の作業に お手伝いいただけませんか！

4月3日 (月)、午前9時からお昼まで。
こちらで昼食を用意しておきます。

4年目になります。作業服、タオル、軍手など、あればノコギリ、ナタなどもお持ちください。お手伝い願える方はぜひお知らせください。

[04-2943-2467](tel:04-2943-2467)

実は去年、小僧(しょうそう)は一過性の脳梗塞により入院中で、作業には参加できなかつたのでした。前年までの参加者が手慣れた手順で若い住職を支えていただきました。

秋冬には道路に葉が落ちてしまうこと気にしていますが、ありがたいことにそばにお住まいの方々にはご理解をいただいている状況です。なるべく道路側を伐採して柑橘類などの常緑樹を植えて工夫をしているところ。数百年を経ている雑木林保全は寶泉寺の役目とも思っています。

護摩法要

日時：3月21日（火・祝）14時開始

会場：寶泉寺大師堂

悪いものを焼き払い、私たちの願いを仏さまに届けるために行うのが護摩供です。皆さまの願いが書かれた護摩木をお焚き上げしますので、ご希望の方は大師堂にてご記入ください。法要の開始直前まで受けつけています。

もちろん、ご参列も大歓迎です。



花まつり

日時：4月8日、9日 10時～16時
会場：寶泉寺本堂

誕生仏をまつる花御堂



4月8日はお釈迦さまのお誕生日で、花まつりと呼ばれます。

今年も2日間にわたり本堂を開放し、期間中いつでも堂内で腕輪念珠が作れるよう準備しています。どなたでもお気軽にお参りください（念珠はお一人につき一つまでは無料です）。

編集後記

- ・WBC と大谷選手が世間を賑わせている。「私たちは完全にはわかり合えないので、歩みよらなければならない」。誰の言葉だったか忘れたがスポーツはわかり合えない者同士をいとも容易く繋ぐ。
- ・コロナも落ち着きマスク着用は個人の判断でという政府発表。この3年で改めて共生することの難しさを痛感した。だからこそ、「私たちは完全にはわかり合えないので、歩みよらなければならない」。(了)
- ・大震災後12年、日本の仏教では13回忌に当たる。被災地では若い世代の語り部の活動をテレビで知った。世代を超えて震災が伝えられて欲しい。豊山派では本山長谷寺化主様が被災地に出向き法要が営まれた。微力ながらも皆さんの心をなごませる一助になればと願う。
- ・年始めから座骨神経痛で困っている。長い距離は歩けないが一カ所に止まっての仕事は大丈夫、春の植木の手入れなどいそしんでいる。(琴)